

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	トレスポ南仙台		
○保護者評価実施期間	2025年3月1日		～ 2025年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年2月 20日		～ 2025年 2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	手厚い職員数で支援を行うことができ、様々な職種の職員が関わることで多角的な視点から療育を行っている。	事業所に慣れるまでは特定の職員が関わり、信頼関係を築き安定してきたら職員を入れ替えて様々な視点のアプローチから支援を行っている。	職員研修や外部研修を通して職員の質の向上を図り、より深い支援ができるよう取り組んでいく。 必要に応じて、他の職種の方から研修を受けたり、保護者支援が出来るよう枠組作りを行っていく。
2	毎回ビジョントレーニングを行い、みる力を育てることで基礎感覚を強化し運動や学習、集中力の向上に力を入れている。	短時間でできるものと、じっくり取り組むものを用意しその日の子どもの状態から取り組めるトレーニングを臨機応変に出して対応している。 遊びの中で視覚機能を高めるものを取り入れている。	職員研修を行い、統一した取り組みが出来るよう取り組んでいく。
3	事業所での日々の出来事や行事など、連絡帳アプリやインスタで活動の様子をお伝えしたり、公式LINEを使って感染症や地震、警報が出た時に発信を行い、情報共有を行っている。	アプリで毎回写真付きでお子さんの様子が分かるよう、活動や課題を行っている様子を伝えている。送迎時にも、当日の様子や気になったことを伝え共有を行っている。	勉強会や子どもと関わり方についてのペアレントトレーニングを実施したり、子育てのためになる情報の発信を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児発の利用児童が少ない。	午前中の時間は利用が難しい子ども(保育園や幼稚園利用)が多いため。 午後の受け入れに関しては、放課後等デイサービス利用児童が多く職員配置上、安全管理や療育の質の部分で提供の難しさがあるため受け入れていない。	午後の時間で放課後等デイサービスの送迎が始まるまでの時間だと受け入れが可能な為、短時間でも利用できるような体制を整えていく。 午前中の利用者確保に向けて名取市や近隣保育園等連携を図っていく。
2	地域の中で他の子どもと関わる機会が少ない。	児発は短時間のため、なかなか他の子どもと関わる時間を持つことが難しい。	今後、イベント時などにチラシを保育園に配ったり、放課後等デイサービスのイベントに招待したり、様々な子どもと関わる機会を設けていく。
3	就学時の移行の際に、小学校との間で支援内容等の情報共有と相互理解に向けた取り組みが弱い。	利用児童が少なく移行支援を行う機会がなかったため。	今後受け入れた際には小学校と支援内容や情報共有を行い、相互理解に向けた取り組みを行っていきたい。